

クリニカルラダー表

レベル		I	II	III	IV	V
レベル毎の定義		組織の一員としての自覚を持ち、行動する	チームメンバーとしての役割を發揮する	チームの一員として指導的役割を發揮する	ロールモデルとなりリーダーシップを發揮する	リーダーとして所属の目標達成に貢献する
育成したい能力						
看護実践能力	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
	ニーズをとらえる力	ケアの受け手をとらえ、判断し、その人に適した方略を選択する	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえる
	ケアする力	ケアの実施・評価を行なう(PDCAサイクルや看護過程の展開)	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	協働する力	ケアの受け手を中心に、情報やデータを多職種間で共有し、ケアの方向性を検討、連携する	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携する
	意思決定を支える力	ケアの受け手が立ち会う場面(治療、最期の迎え方等)において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる
組織的役割遂行能力	自律する力	組織人として職場規律を遂行し自律(セルフコントロール)して行動する	常に服務規律を守り行動できる	服務規律に関して後輩の手本となり指導できる	服務規律に関して責任のある行動がとれ指導ができる	病院の一職員として院内外の人々と良好な関係を築くことができる
	共に成長する力	自己の役割を理解し、互いに認め合い、共に成長する	部署の一員としての役割を理解して行動できる	他者に自分の思いや考えを伝えることができる	他者を理解しようと努力し、肯定的な関わりができる	1. 他者の能力開発を支援することができる 2. 専門知識を活用し、スタッフの教育指導ができる 3. 部署の人材育成において、責任ある行動をとることができる 4. 臨床実習において対象に合わせて効果的な指導ができる 5. 他者の目標達成に向けた取り組みを支援することができる
	改革する力	先取的に課題や問題を捉え、柔軟に改善・変革する	病院、看護部の理念・目標、部署の目標の意義がわかる	部署の目標達成のための活動に参加できる	部署の係やチームの目標達成に向けて自主的にリーダーシップを發揮することができる	1. 部署の目標設定に参画でき、目標達成に向けてリーダーシップを發揮できる 2. 組織の現状を認識し、所属内外の委員会、会議の中で中心的役割を發揮することができる 3. 看護管理上の問題を解決するための方策を提案し、管理者と共に取り組むことができる
自己教育・研究能力	経営に参画する力	病院経営の現状と課題を理解し、積極的に経営に参画する	診療報酬制度が病院の経営に関連していることがわかる	診療報酬制度と日常業務の関連性がわかる	診療報酬制度と日常業務を関連させ行動することができる	1. 診療報酬制度、社会的変化に関心を持ち、病院経営に参画できる 2. 経営改善の取り組みに参画できる
	学び続ける力	専門職として幅広い視野を持ち、看護の質の向上のために継続的・積極的に学ぶ能力	支援を受けながら看護研究に取り組むことの意味が理解できる	支援を受けながらキャリア発達に取り組むことができる	計画的に看護研究に取り組むことができる	1. 他者の看護研究を支援することができる 2. 自己のキャリアビジョンに基づいて、能力の維持、開発することができる